

（議員用）

2025 年 4 月 28 日

宝塚市議会議長 様

議員名（※）坂本 篤史



（※）自署しない場合は記名押印してください。

2024年度 政務活動費収支報告書

宝塚市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり、2024年度政務活動費に係る収入及び支出を報告します。

記

1 収入 政務活動費 888,000 円

2 支出

科 目	金 額
研究・研修会費	70,210 円
調査費	57,801 円
広報費	- 円
広聴費	- 円
要請・陳情活動費	29,728 円
資料作成・購入費	- 円
人件費	- 円
事務費	- 円
合 計	157,739 円

3 残 額 730,261 円

支 出 内 訳 書

科 目	内 訳	
研究・研修会費 (70,210 円)	(1) 会場費	- 円
	(2) 講師謝金・旅費	- 円
	(3) 出席者負担金・会費	30,000 円
	(4) 旅費	40,210 円
	(5) 交通費	- 円
	(6) その他	- 円
調査費 (57,801 円)	(1) 旅費	56,040 円
	(2) 交通費	1,761 円
	(3) その他	- 円
広報費 (0 円)	(1) 広報紙・報告書印刷費	- 円
	(2) 送料	- 円
	(3) 会場費	- 円
	(4) その他	- 円
広聴費 (0 円)	(1) 旅費	- 円
	(2) 交通費	- 円
	(3) 会場費	- 円
	(4) 印刷費	- 円
	(5) その他	- 円
要請・陳情活動費 (29,728 円)	(1) 旅費	29,728 円
	(2) 交通費	- 円
	(3) 印刷費	- 円
	(4) その他	- 円
資料作成・購入費 (0 円)	(1) 資料作成費	- 円
	(2) 翻訳料	- 円
	(3) 書籍・新聞等購入代	- 円
	(4) その他	- 円
人件費 (0 円)	(1) 賃金	- 円
事務費 (0 円)	(1) 事務消耗品費	- 円
	(2) 備品費	- 円
	(3) 電話料	- 円
	(4) その他	- 円

(会派名または議員名 坂本 篤史)

政務活動費支出書

支出科目	調査費	内 訳	旅費	支出番号	1
支 出 日	2024年4月25日		支出金額	56,040 円	
支 出 先	JRなど				
支出内容	旅費等				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供 電	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
	別紙様式3-1	別紙様式3-2	(議事用)						議

出張調査（研究・研修会参加）報告書

宝塚市議会議員 様

議員名（※）

坂本 篤史

（※）自署しない場合は記名押印してください。

出張調査（研究・研修会参加）の結果について、次のとおり報告します。

- 調査先（研究・研修会会場） 福島県福島市役所
栃木県宇都宮市教育センター
- 期 間 令和6年4月24日 ～ 令和6年4月25日
- 出張者氏名（議員名） 坂本 篤史
- 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付
福島県福島市役所：議会答弁システムについて
栃木県宇都宮市役所：メタバースを活用した不登校児童支援について

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
4/24	JR	中山寺～新大阪	510円	✓ 有 (無)	
	JR	新大阪～福島	21,010円	✓ (有)・無	
	タクシー	JR福島～福島市役所	927円	✓ (有)・無	
	JR	福島～宇都宮	6,050円	✓ (有)・無	
4/25	✓ タクシー	宇都宮～宇都宮市教育センター	834円	✓ (有)・無	
	JR	宇都宮～新大阪	18,460円	✓ (有)・無	
	JR	新大阪～中山寺	510円	✓ 有 (無)	
合 計			48,301円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

1人	1泊	金額 計	9,500 円 ✓
6 交通費	ガソリン代		円
	高速代		円
	駐車場代		円
	自動車借上料		円
		計	円

合計

7 出席者負担金・会費 @ × 1 人 = 57,801 円 ✓

【記入要領】

- ア 出張調査（市内を除く）、研究・研修会参加（市外、市内とも）の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査（研究・研修）結果の概要、所見等については別紙を添付すること（書式は任意）。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額（13,000円）以内で現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車（バイクを含む）等を利用した場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。



領収書

Rakuten Travel

発行日: 2024/4/15
発行1回目

坂本篤史

様

支払金額 9,500 円
宿泊料金: 9,500 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

クレジットカード決済金額 9,500 円

■ 課税対象

10%対象 9,500 円

課税対象外 0 円

■ 利用内容

宿泊者氏名 さかもと あつし

予約番号 RYa0i5nyd0_2

宿泊施設 アパホテル〈宇都宮駅前〉

宿泊施設住所 栃木県宇都宮市東宿郷2-4-4

チェックイン日 2024/4/24

チェックアウト日 2024/4/25

宿泊人数 大人 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

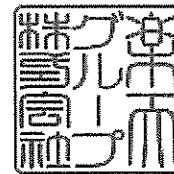
トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



領 収 書

Receipt

様

領収年月日

2024.4.16

登録番号: T1120001059675

金額

¥63,030 (消費税等込み)

税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品

JR乗車券類

(30423 9枚)

西日本旅客鉄道株式会社

宝塚駅F1発行

40424-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

新大阪～福島

1 L 21,010円

領収書

Receipt 様
領収年月日 2024.4.24 登録番号: T9011001029597
金額 ¥9,240 税10%

上記金額確かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類
(10337 3枚)
東日本旅客鉄道株式会社
福島西口VF1発行 20338-02

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領収書

Receipt 様
領収年月日 2024.4.24 登録番号: T9011001029597
金額 ¥8,910 税10%

上記金額確かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類
(50334 3枚)
東日本旅客鉄道株式会社
福島西口VF1発行 60335-02

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

$$9240 + 8910 = 18150$$

$$18150 \div 3人 = 6050$$

領収書原本は 藤岡議員の支出書No.1に添付

4/24 JR福島駅 → 福島市駅

2780 ÷ 3 = 927円

4/24 福島市駅 → JR福島駅

藤岡議員 927円

中野議員 926円

坂本議員 927円

計 2780円

領収書

2024年04月24日 -005
メーター運賃 ¥1,660円

合計 ¥1,660円
(税率10%)

登録番号 T3380001001403
現金支払 ¥1,660円

無線番号 150
毎度ご乗車ありがとうございます。

福島貸切辰巳屋自動車

福島市北町3-30

024-523-3241

領収書

2024年04月24日 -005

メーター運賃 ¥1,120円

合計 ¥1,120円
(税率10%)

登録番号 T6380001001615

現金支払 ¥1,120円

無線番号 0507

毎度ご乗車ありがとうございます。

本田タクシー(株)

福島市太平寺字毘沙門堂3

024-545-1155

4/25 JR宇都宮駅 →

宇都宮駅

2500 ÷ 3 = 834円

4/25 宇都宮駅 → JR宇都宮駅

藤岡議員 833円

中野議員 833円

坂本議員 834円

計 2500円

領収書

2024年04月25日

車両番号 6125

運賃 ¥1500円

合計 ¥1500円
(適用税率 10%)

上記の様に領収致しました



泉タクシー株式会社

栃木県宇都宮市泉が丘3丁目17番11号

本社(営) ☎028-660-8822(代)

清原(営) ☎028-667-8011(代)

下栗(営) ☎028-660-8822(直)

日大・東北方面は宇都宮・栃木駅利用下さい。

☎0288-21-5211

登録番号: T1060001000513

領収書

2024年04月25日

車両番号 6117

運賃 ¥1000円

合計 ¥1000円
(適用税率 10%)

上記の様に領収致しました



泉タクシー株式会社

栃木県宇都宮市泉が丘3丁目17番11号

本社(営) ☎028-660-8822(代)

清原(営) ☎028-667-8011(代)

下栗(営) ☎028-660-8822(直)

日大・東北方面は宇都宮・栃木駅利用下さい。

☎0288-21-5211

登録番号: T1060001000513

領 収 証

2024年 4月25日

坂本 篤史 様

金18,460円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

手都宮805 No.000042

印 振 税 申 告 納
付 に つ き 渡 合
税 務 署 承 認 済

福島市
最高デジタル責任者補佐(CDO補佐)

信太 秀昭
SHIDA Hideaki

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL 024-535-1111(内線1020)
hideaki-341@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市 議会事務局
議事調査課

課長
加藤 淳
Kato Atushi

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL(024)525-3776(直通)
FAX(024)534-2520
gi-giji@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市 議会事務局
議事調査課 調査係

わたなべ しゅういち
係長 渡辺 秀一
Watanabe Shuuichi

〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
TEL 024-525-3776
FAX 024-534-2520
E-mail:gi-giji@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市 議会事務局
議事調査課 調査係

主査
齋藤 正和
Saitou Masakazu

〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
TEL 024-525-3776 FAX 024-534-2520
E-mail: gi-giji@mail.city.fukushima.fukushima.jp
(LGWAN) gi-giji@city.fukushima.lg.jp

福島市議会

議長
萩原 太郎
はぎはら たらう

〒九六〇―八六〇―一
福島市五老内町三番一号
電話(〇二四)五三五―一一(代)

福島市
総務部 総務課 総務係
課長補佐兼
係長

伊勢 洋一郎
Ise Youichirou

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL(024)525-3701
FAX(024)535-1260
youichirou-222@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市 政策調整部 デジタル改革室
情報企画課 情報企画係

情報企画係長
高橋 正秀
TAKAHASHI MASAHIDE

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL(024)525-3709
jouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp
jouhou@city.fukushima.lg.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市 議会事務局
議事調査課 調査係

主査
きくち 菊地 ゆかり
Kikuchi Yukari

〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
TEL 024-525-3776
FAX 024-534-2520
E-mail:gi-giji@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

自治体DX推進参考事例集

【3. 内部DX】



総務省

令和5年4月28日

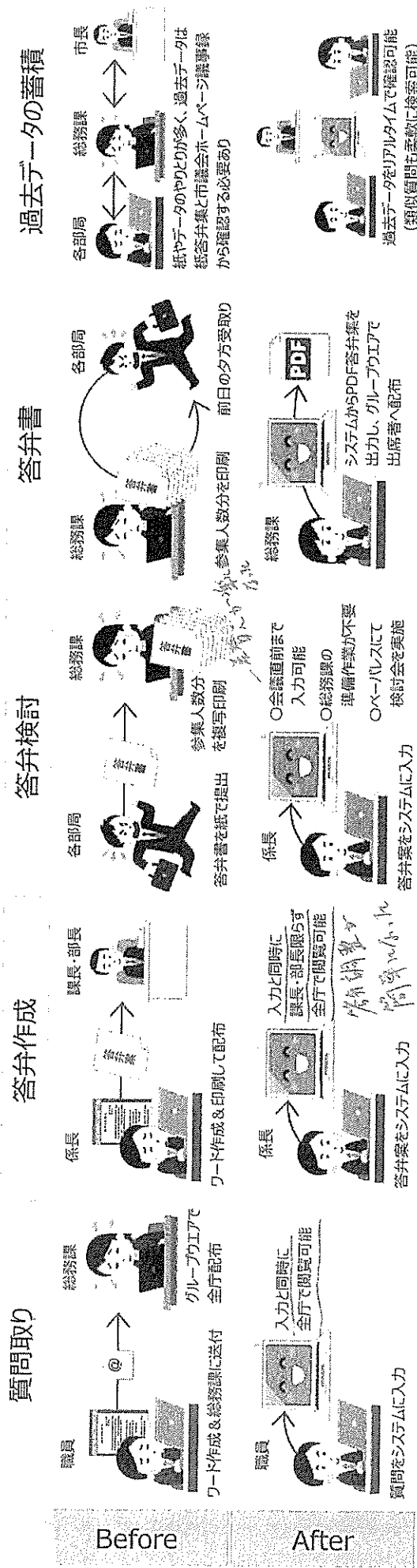
22 「議会答弁検討システム」で事務負担・印刷物を大幅削減【福島県福島市】



- 内製「議会答弁検討システム」に、市議会の質問取り～答弁作成～答弁検討におけるデータを集約し全庁情報共有。作業時間削減等の業務効率化とペーパーレス化を実現

事業の概要

- 市議会の質問取り、答弁作成、答弁検討の一連の流れ全てにおいて、Word/Excelデータ・紙媒体による作業を無くし、内製システムにデータを集約することで、全庁情報共有による答弁検討業務に移行した。
- 「仕事の流れは変えずにやり方を変える」、「一部の部署からスタート」でスムーズに全庁に導入。



事務負担と業務時間の削減

ペーパーレス化

市長との答弁検討会で年間約11,000枚削減、答弁書で年間約44,000枚削減（年間合計55,000枚）

22 「議会答弁検討システム」で事務負担・印刷物を大幅削減【福島県福島市】



（総務省）

取組の経緯・きっかけ、概要を教えてください。

市長は常々職員に業務改革と意識改革を求めており、今回議会答弁をまとめる一連の業務に焦点を当てました。

特にバックヤードの職員にかかる負担を改善したいと考えました。

一方、議会答弁に関連する民間ソフトウェアは見あたらず、自らの手で部局を超えて使えるデータベースシステムを作ることと省力化を図り、併せてペーパーレス化したいと考えました。

そこで、Microsoft Accessをフレームに、VBA、ADO、SQLを使って開発しました。

システム作成や全庁的な取組にした工夫や職員の方の声を教えてください。

平成30年の開発当初より、アジャイル的に機能改善を繰り返し返しました。開発側、担当者も同じ職員という意見交換しやすい環境の中で、細かな要望にも、僅かでも業務時間を短縮できるなら機能に組み込み「現場に即した仕様で効率が良いもの」に成長していきました。

システム導入にあたり「今までの仕事の流れを変えるのか」との抵抗感を持つ職員もいるので、まずは庁内2つの部だけで導入しました。その後、市長から「答弁検討会はシステムで行う」との号令があり、一気に拡大しました。

職員からは、「他の人が書く答弁をリアルタイムに参照できて便利」、「過去の類似データを検索、引用できて良い」、「ワードに質問を入力してから書き始めるのではなく、質問を選んで入力という手順がラク」との声が寄せられています。



今後の展望を教えてください。

当システムは民間事業者にて商品化が進められています。

現在100を超える自治体から問い合わせがあり、当市システムを流用することで、広く事務改善が低コストで図られることを期待しています。



☆担当：福島市 政策調整部 デジタル改革室 ☆

【参考情報】 福島市人口：27.3万人

関連URL：福島市デジタル化の推進 (<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shise/kekaku/digital/index.html>)

22 「議会答弁検討システム」で事務負担・印刷物を大幅削減【福島県福島市】

参考資料

内製「議会答弁検討システム」画面イメージ

開じる		答弁作成	
R4年3月／定例会議		代表 2 1-(2)-①	
質問 ④について	16番 福島 太郎	福島 の会	
ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた取り組みについて			
市役所業務のデジタル化についての取り組みの進展について伺う。			
答弁		バックデータ	
次に、市役所業務のデジタル化については、今年度、庁内に、デジタル化を推進するためのプロジェクトチームを設置いたしました。新年度においては、政策調整部に「デジタル改革を強力に推進する「デジタル推進課」と自治体情報システムの標準化など庁内の情報化を担う「情報企画課」を設け、本市のデジタル化を強力に推進してまいります。 デジタル化の各種施策につきましても、オンラインラッシュ申請の高度化・効率化の拡充を図るなど、市民サービスの向上に資する事務の高度化・効率化に取り組んでまいりました。 今後におきましても、LINEを活用した講座や相談の予約システムを導入するほか、マイナンバーカードの取得促進や「書かない」「待たない」スマート行政窓口、電子入札の導入など、あらゆる分野でのオンラインファースト強力に推進し、自治体経営のDXを推進してまいります。		担当課 情報政策課 答弁者 市長 校了 ④ R4年3月4日 13時5分24秒 福島 太郎 政策調整部 情報政策課 部長 ④ R4年3月3日 8時19分9秒 福島 太郎 政策調整部 情報政策課 作成 ④ R4年3月3日 8時19分8秒 福島 太郎 政策調整部 情報政策課 答弁確認コメント	

答べんりんく

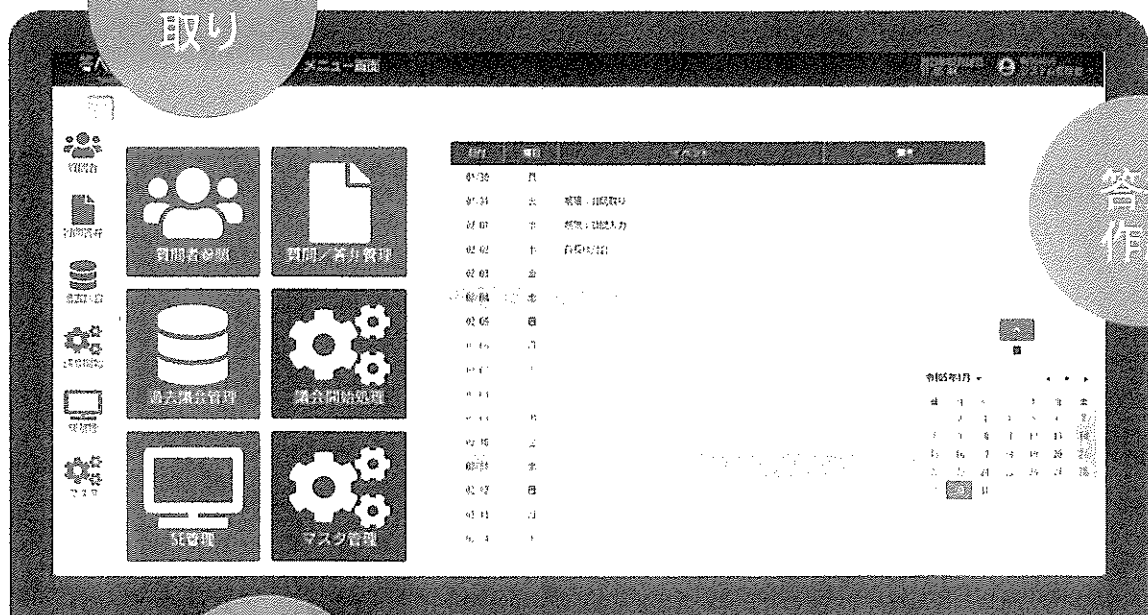
Touben LinQ

登録商標 登録第6698199号

議会答弁検討システム

製品紹介

質問
取り



答弁
作成

答弁
検討

質問取りから答弁検討まで
オンライン一元管理



01 議会開始処理

- ✓ 定例／臨時区分や開会日情報などの各議会情報を管理

02 質問者管理

- ✓ 議会毎の質問者と質問者の質問予定日、質問形式、質問順序を管理

03 質問答弁管理

- ✓ 質問要旨、質問意図の入力、担当部、確認区分の割振り
- ✓ 答弁者や答弁内容の入力、答弁作成から校了までのステータス管理
- ✓ 質問・答弁情報を一覧表示し、効率的な答弁検討会を支援
- ✓ 校了答弁などの帳票を一覧画面で指定したソート順で一括出力
- ✓ 編集集中のデータを排他ロックし、同時更新を防止

04 過去議会管理

- ✓ 議会毎の答弁情報を蓄積することでナレッジ化
- ✓ 蓄積したデータから類似質問・答弁の検索が可能

05 マスタ管理 ※管理者権限ユーザのみ

- ✓ EXCELで入力した質問情報の一括取込にも対応
- ✓ 議員情報や職員情報などのマスタ情報を管理

質問取りから答弁書作成までの流れ

所管課担当者

1. 議員毎の質問項目を登録

質問取り担当者

2. 議員にヒアリングを行った質問要旨を登録

所管課担当者

3. 答弁担当部の割振りを登録

答弁作成課担当者

4. 答弁内容の入力

答弁作成課担当者

5. 答弁内容の検討

所管課担当者

6. 答弁書のPDF（又は印刷）出力

議会答弁作成業務のペーパレス化と事務負担軽減



議会答弁作成業務、こんなお悩みありませんか・・・？

答弁の進捗状況は？
他部署の答弁内容と整合が
とれているか確認が大変…。

質問要旨と答弁書の
集約や印刷、丁合、差替に
係る作業が多いな…。

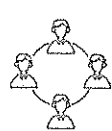
システム化したいけど、
費用も時間もかかりそう…。

本当に困っている業務で
デジタル化・DX推進に
取り組みたいのだけど…。

過去に似た内容の答弁が
あったはずだけど
どこにあるのだろうか…。

答べんりんくがあなたの課題を解決します！

Features 4つの特長



全関係者が
質問・答弁の進捗状況を
リアルタイムに共有

オンライン更新で進捗状況をタイムリー
に把握。
答弁作成／承認／差戻のタイムスタンプ
を表示し、進捗を見える化。



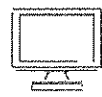
ワープロや表計算ソフト、
紙による管理の
手間を削減

質問と答弁は、リアルタイムにクラウド
サーバ上で一元管理。
答弁の急な差し替えもデータで完結。
PDF出力でペーパレス化を実現。
紙印刷削減で経費も削減。



クラウドサービス
(Internet/LGWAN)
低コストでスムーズな導入

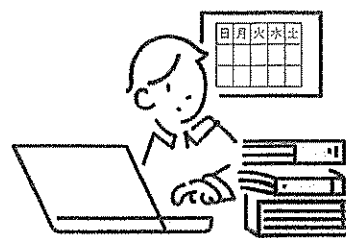
クラウドサービスなので個別サーバの
導入が不要。
低コストで短期間の導入を実現。
サブスクリプション型サービスなので、
契約後すぐにシステム使用が可能。



議会毎の答弁情報を
保持するデータベース

システム導入後の答弁情報をデータベー
スに保持し、同一システムで参照可能。
蓄積したナレッジから類似質問の有無や
答弁内容を検索し、答弁作成を支援。

首長から担当まで全庁で リアルタイム情報共有 / 議会答弁作成業務を トータルサポート



福島市での導入効果

答弁検討時間を
プラス5時間
創出



出力用紙を
年間5万枚
削減



準備事務を
年150時間
削減

答弁検討会の準備時間を
10時間から5時間に短縮し
答弁検討時間を5時間創出

削減された出力用紙は
検討会で約1万枚
本会議で約4万枚

検討会準備、答弁集約、
答弁印刷、丁合、庁内
配布の時間を削減

効率的な情報共有

質問入力から答弁検討まで
オンラインで見える化し
全庁の情報共有を効率化

ペーパーレス化

答弁書をPDFで出力し、
PCやタブレットで閲覧
ペーパーレス化を推進

職員の事務負担軽減

質問要旨と答弁書の作成を
システム化し、準備事務の
時間をほぼゼロに

製品に関するお問い合わせ

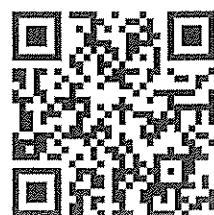
株式会社ぎょうせい 法令コンテンツ事業推進部

ブラウザのアドレスバーに gyosei.jp と入力
Home>事業分野>法令・例規・規程サービス>議会答弁検討システム
お問い合わせフォームからお気軽に



https://gyosei.jp/business/law/touben_linq/

- 販売／株式会社ぎょうせい、株式会社エフコム
- 開発／株式会社エフコム
- 協力／福島県福島市（デジタル改革室 ☎024-572-3943）





●視察報告

① 福島市 議会答弁検討システム「答べんりんく」について

福島市役所にて、システムの開発者から説明を受ける。

このシステムは職員が業務効率化のために開発した内製システムであり、開発した職員は普段から業務改善を強く意識し業務に臨んでいたとのこと。

市役所の職員のみが使用するのでベンダーには作成、商品化は困難であり、だからこそ、自分たちで開発をしようとなった。

自分たちで開発したからこそ、職員が使いやすいように開発できた。

その後「株式会社ぎょうせい」と提携し各自治体に販売。福島市は著作権を有し収入があるとのこと。

昨年4月から販売し5自治体が購入。近畿では彦根市が導入済み。他自治体については非公表とのこと。

毎回の定例会ごとの質問取り・答弁作成・答弁検討は業務量が大きく職員の負担となっていたが、システム導入後は、とにかく作業時間削減やペーパーレス化など効率化につながったとのこと。

質問取り→答弁作成→答弁検討の流れは変わっていない。また、答弁作成は係長が実施しており、OJTで職員育成も兼ねているのでそれも変更していない。

Excel・Wordデータ、紙媒体による作業をなくし、システムにデータを集約することで全庁による情報共有を可能にし、各課とのデータ受け渡し、紙の受け渡しが不要とした。

課長、部長らが実施していた答弁添削や校了確認もシステム内でおこなうことでデータ、紙の受け渡しが不要になり、答弁案をシステム内で全関係部局が閲覧できるので意思決定が速やかになり、齟齬も少なくなった。

システム導入にあたり、庁舎内では心配の声もあったが市長が強く推進し導入決定。全庁舎に浸透するまで1年ほど時間を要したとのこと。

今後、宝塚市でもDX、働き方改革を推進するにあたり効果はあると感じる。

また「開発者の姿や導入結果を目の当たりにした後輩職員が業務改善に向け自らシステム開発に挑戦するなど人材育成につながったことが副産物です。」との話が印象的であった。

② 宇都宮市 デジタル適応支援教室「U@りんくす」(ゆーあっとりんくす) について

宇都宮市教育センターで説明を受ける。

「U@りんくす」(ゆーあっとりんくす) は学校や社会とつながりが持てず、家庭で多くの時間を過ごしている不登校児童生徒が教育課^から取り残されてしまわないよう「学びの機会」を保障しオンラインでの学習支援や相談、体験活動などを通して人とのつながりを実感しながら、将来の「社会的自立」に向けた力を育むことを目的に開設された。

宇都宮市内には不登校児童生徒が 1,420 人 (R4) おり、その中で様々な理由により多様な支援につながっていない不登校児童生徒 343 人 (R4) を対象とし、ICT を活用し不登校支援できないかという点からスタートしている。

現在は小学生 27 名、中学生 45 名が登録している。

メタバース (仮想空間) の開設にあたり、教室を想像すると踏み出せなくなる児童生徒にも配慮し教室のイメージがないもので設定しており、ゲームのような空間であった。

「U@りんくす」に出席した場合は学校長の判断で「指導要録上の出席扱い」となるよう活動状況を共有している。

支援内容はアバターを使い、ホームルームや交流、学習支援、相談、体験活動などが実施されていた。家庭で多くの時間を過ごしている児童生徒が社会に興味を持てるよう担当職員が動物園や企業などに訪問しライブ配信をおこなうことで、興味を引き出し夏季休暇などでオフ会を実施。普段は「U@りんくす」内での交流しかない児童生徒らが現実交流できる機会を創出しており、人間関係を構築する上で良いワークッションになっているように感じられた。また、開設を 10:00~16:00 と設定することで、生活リズムが改善されたとの報告もあったとのこと。

「U@りんくす」は開設されて 1 年が経過したとのこと。問い合わせや視察が全国から絶えない状況であった。

児童生徒が「U@りんくす」だけではなく、対面でもつながりを持てるようになったことが良いことだと感じた。

宝塚市においても様々な状況の不登校児童生徒がいるので、支援の方法の一つとして有用であると思うと同時に、たくさんの可能性を秘めたものであると感じた。

デジタル適応支援教室「U@りんくす」の概要について

※ U@りんくす（ゆーあっとりんくす）…「U」宇都宮，あなた・君（You）と「@」アットホーム（自宅で，くつろいで），「links」つながる，輪，絆などを合わせて，「あなたとつながるアットホームな場」として考えた造語。

1 開設の目的

- ・ 学校や社会とつながりがもてずに家庭で多くの時間を過ごしている不登校児童生徒が，教育から取り残されてしまうことがないよう，「学びの機会」を保障し，オンラインでの学習支援や相談，体験活動等を通して，人とのつながりを実感しながら，将来の「社会的自立」に向けた力を育む。

2 主な対象

- ・ 校内の別室や，来所型の施設の利用等につなげていない不登校児童生徒

3 担当職員 5名（指導主事1名，県費教員2名，SC1名，ICT支援員1名）

4 支援内容

- ・ オンラインで以下のような支援を行う。
ホームルーム，メタバース（仮想空間）でのアバターを使った交流，学習支援，相談，体験活動（農業体験，自然とのふれあい，公共施設の見学）など

※ 今後の児童生徒の利用状況等を踏まえて，適宜活動の見直しを行う。

5 指導要録上の出席扱い

- ・ 「U@りんくす」の利用については，学校長の判断で「指導要録上の出席扱い」になるよう，児童生徒の活動状況を学校と共有していく。

※ 「スプレッドシート」で共有することにより，管理職及び学級担任が，児童生徒の活動状況を常時把握できるようにする。

6 利用までの流れ

- (1) 児童生徒及び保護者が，説明会動画を視聴する。
 - (2) 保護者が正式に申込を行い，ウェルカムセッションを予約する。
 - (3) ウェルカムセッションに参加後，利用が可能。
- ※ 教育センターでの相談は不要，利用開始時には，教育センターから学校に連絡する。
- ※ ウェルカムセッションでは，職員との顔合わせや，操作説明等をオンラインで行う。

ゆーあっと

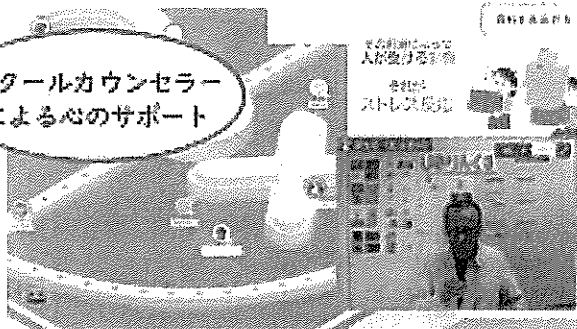
「U@りんくす」

すべての活動は、子どもたちの「自己決定」を大切にして、
自分のペース、自分の興味関心をもとに進めていきます。

「U@りんくす」の活動の様子

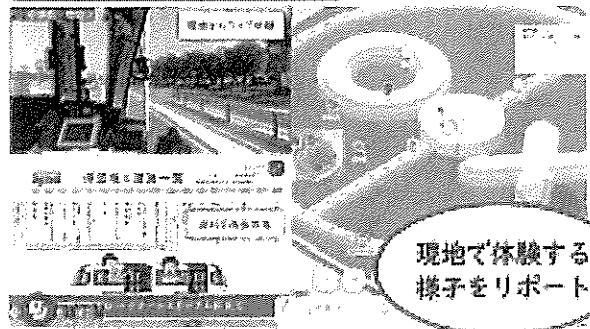
日替わりのライブ配信

スクールカウンセラー
による心のサポート



SCたっきーのほっとひとときタイム

屋外からのライブ配信



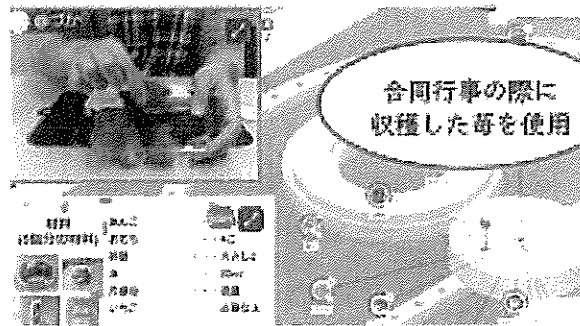
トレジャータイム「ライトラインに試乗」

オリジナル動画コンテンツ



「野菜の苗を育てよう」シリーズ

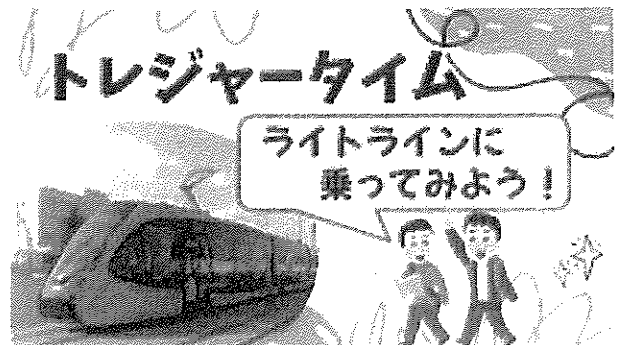
季節に応じたイベント



りんくすクッキング「切り餅を使った芋大福づくり」

「U@りんくす」で公開している動画コンテンツの一部

お仕事図鑑「株式会社うさぎや商店」



デジタル適応支援教室

「U@りんくす」

☎ 1006433

「U@りんくす」では、不登校の子どもたちの「学びの機会」を保障し、オンラインでの学習支援や相談、体験活動などを通して、人とのつながりを実感しながら、将来の「社会的自立」に向けた力を育んでいます。

市教育センター ☎ (639) 4380

■「U@りんくす」で交流しよう

「U@りんくす」では、インターネット上に、不登校の子どもたちが安心して過ごせる仮想空間（メタバース空間）を作り、自分の分身であるアバター（キャラクター）を使って、活動に参加できます。1日2回のホームルームや、日替わりのライブ配信の他、宇都宮動物園や宇都宮城址公園など、屋外からのライブ配信、社会人への職業インタビューなどのオリジナル動画コンテンツの作成など、さまざまな活動プログラムを提供しています。

対象 市内在住の小・中学生のうち、学校に登校していない人。

その他 申込方法や説明会動画など、詳しくは、市教育センター URL をご覧ください。市立の小・中学校以外に、市内にある私立・国立・県立の小・中学校に在籍している人も利用が可能です。



市教育センター URL

「U@りんくす」の利用イメージ

- 自分のペースで、自分の興味関心を基に進められます。
- 生活のリズムが整うように、決められた時間にホームルームやライブ配信に参加。
- 音声や文字のやり取りにより、仲間と自由に交流。
- 自分で描いた絵や制作した作品を紹介。
- オリジナル動画コンテンツ視聴やプログラミング体験など、自分のペースで活動。
- 季節に合わせたイベントや、他の適応支援教室との合同行事など、現実世界（リアル）での交流。
- オンラインによる個別面談や保護者面談（希望制）。



学びの機会の保障



自身の社会的自立
を目指した活動



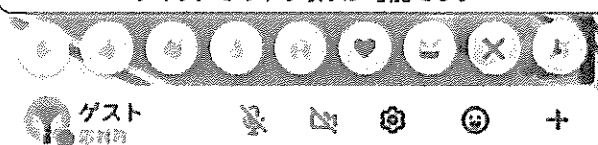
人とつながりのイメージ

「U@りんくす」の空間イメージ

つながる 出会う 広がる



アバターを使って、拍手、OK などのリアクションや、チャットでのやり取りが可能です。



アバターで自分の分身を作れます



アバターは、自分が描いたイラストや撮影した写真などに変更できます。

あなたとつながる**あんと**とホームな居場所

デジタル適応支援教室「U@りんくす」

宇都宮市では、不登校になっている子どもたちが安心して過ごせるオンラインの居場所を、令和5年4月より開設しました。

すべての活動は、児童生徒の「自己決定」を大切にして、自分のペース、自分の興味関心をもとに進めていきます。

不登校児童生徒に対して行う3つの支援



○ 授業配信・動画コンテンツの活用

授業配信・動画コンテンツ等、個に応じた教材を活用する。

○ AI型学習ドリルの活用
個別最適な学びを進める。

○ コミュニケーション力の育成
アバターを活用して、コミュニケーションスキルを磨く。

○ SCとの面談

SCとの面談を通して、心のケアや自信の回復を行う。

○ ホームルーム

メタバース（仮想空間）を活用した児童生徒同士の交流を行う。

将来の社会的自立

学びの機会の保障

○ オンライン社会体験

自立につながる職業や活動に触れる。（農業・民間企業・ボランティア活動など）

○ オンライン体験活動

自分自身の視野を広げるための体験活動に参加する。（陶芸・書道・写真・プログラミング）

○ 大学・専門学校との連携

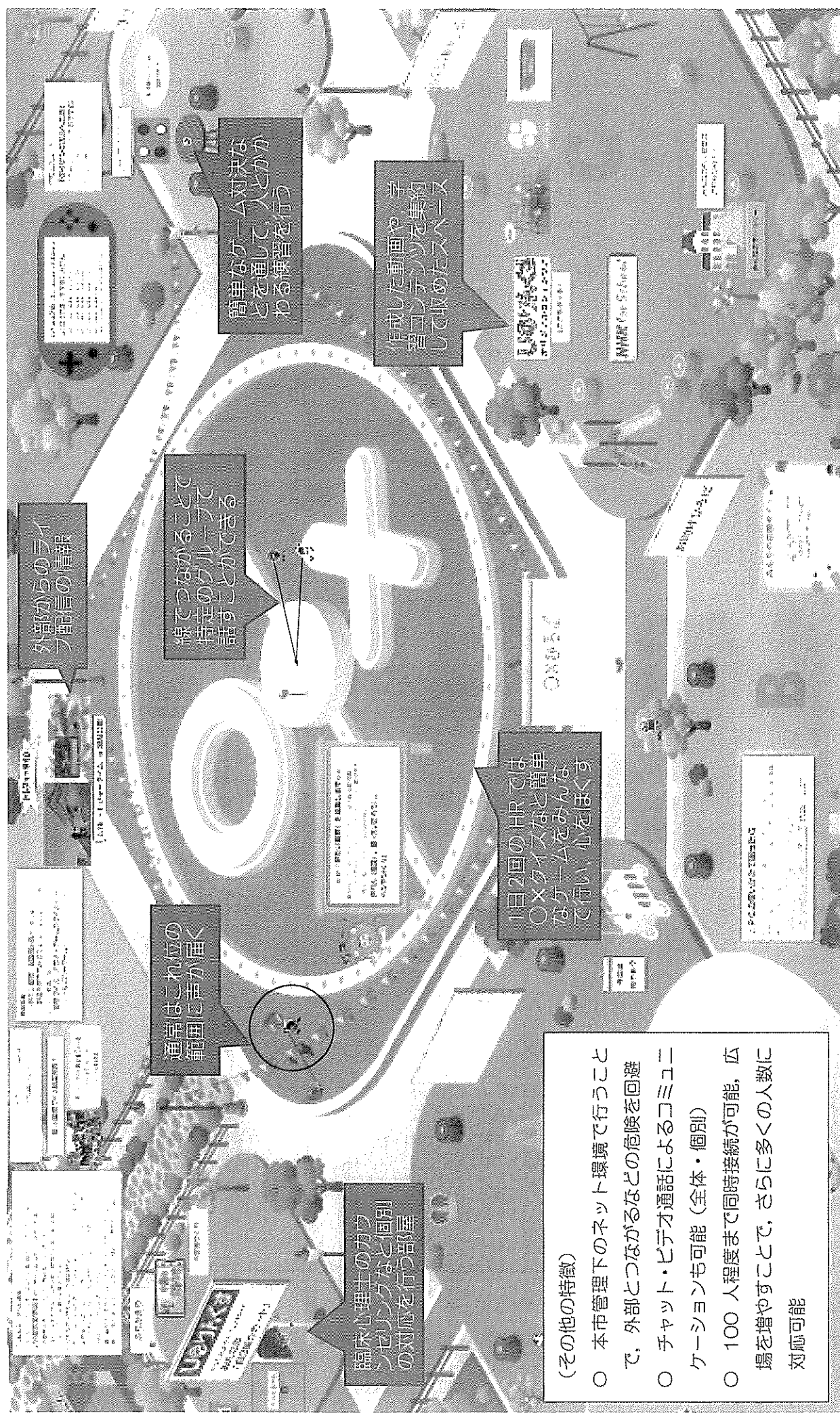
将来の夢につながる学びの楽しさに出会う。（教育・心理学・科学・デジタル・アートなど）
※作品展示会あり。

つながる

広がる

オンライン

＜子どもたちが活動するメタバース空間の様子＞ 学校・教室をイメージしないアットホームな空間として設定





宇都宮市教育センター



所長 飯田 高広

〒320-0816 栃木県宇都宮市天神1-1-24

TEL : 028-639-4388

FAX : 028-639-4393

URL : <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

E-mail : u47150000@city.utsunomiya.lg.jp



宇都宮市教育センター

デジタル適応支援教室

「U@りんくす」担当

副主幹・指導主事 飯島 実

〒320-0816 栃木県宇都宮市天神1-1-24

TEL : 028-639-4380 (教育相談室)

e-mail : ulinks@ueis.ed.jp



UTSUNOMIYA CITY
宇都宮市議会事務局 政策調査課

書記 相馬 亮太

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
TEL : 028(632)2611 FAX : 028(632)2613
Mail : u79002000@city.utsunomiya.tochigi.jp

市議会HP  




UTSUNOMIYA CITY
宇都宮市議会事務局 政策調査課

主任書記 塩谷 沙織

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
TEL : 028(632)2611 FAX : 028(632)2613
Mail : u79002000@city.utsunomiya.tochigi.jp

市議会HP  



政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	2
支 出 日	2024年5月9日		支出金額	30,000 円	
支 出 先	地域の未来を考える災厄・縮小社会に問われる「自治」				
支出内容	研修会 「出張調査（研究・研修会参加）報告書」及び領収書は支出書No.3に添付				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

(会派名または議員名 坂本 篤史)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	3
支 出 日	2024年5月10日		支出金額	40,210 円	
支 出 先	JRなど				
支出内容	旅費等				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
覧									議

出張調査（研究・研修会参加）報告書

宝塚市議会議長 様

議員名（※） 坂本 篤史
（※）自署しない場合は記名押印してください。

- 出張調査（研究・研修会参加）の結果について、次のとおり報告します。
- 1 調査先（研究・研修会会場） KFCホール 2nd（東京都墨田区）
 - 2 期 間 令和6年5月9日 ～ 令和6年5月10日
 - 3 出張者氏名（議員名） 坂本 篤史
 - 4 調査項目、テーマ 地域の未来を考える 災厄・縮小社会に問われる「自治」

5 旅費
①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金 額	領収書の有無※	備 考
5/9	JR	中山寺～両国	14,840円	有・無 ✓	
5/10	JR	両国～中山寺	14,840円	有・無 ✓	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
合 計			29,680円	✓	

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

1人	1泊	金 額	計	10,530 円 ✓
6 交通費	ガソリン代			円
	高速代			円
	駐車場代			円
	自動車借上料			円
	計			円

7 出席者負担金・会費 @ 30,000 × 1 人＝ 30,000 円 ✓

【記入要領】
ア 出張調査（市内を除く）、研究・研修会参加（市外、市内とも）の場合、この報告書を作成すること。
イ 調査（研究・研修）結果の概要、所見等については別紙を添付すること（書式は任意）。
ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
オ 宿泊料は、上限額（13,000円）以内で現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
キ 交通費は、自家用車（バイクを含む）等を利用した場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。



領収書 兼 利用明細書

坂本篤史 様

領収金額		¥10,530
宿泊代		¥10,530
小計		¥10,530
10%対象	¥10,530	内消費税 ¥957
合計		¥10,530
現金		¥10,530

部屋番号 : 3032
宿泊期間 : 2024/05/09 - 2024/05/10

アパホテル&リゾート 〈両国駅タワー〉
TEL 0570-021-111

アパホテル株式会社

登録番号:T4010401043403
取引番号:117008P050920624 2024/05/09 17:36
・本領収書は再発行できません。

領 収 書

Receipt

領収年月日 2024-4-15 登録番号: T1120001059675
金額 ¥29,680 (消費税等込み) 税 10%

上記金額確かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類
(10148 4枚)
西日本旅客鉄道株式会社
中山寺駅F1発行 20149-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

No.5910661

領収書

発行日 2024 年 5 月 9 日

坂本 篤史 様

¥30,000—

但し、第24期自治政策講座 in 東京受講料として
上記正に領収いたしました。

自治体議会政策学会
会長 住沢 博紀

〒112-0013
東京都文京区音羽1-5-8 イマジン第2オフィス
TEL 03-5227-1827 FAX 03-5227-1828

●研修報告 5月9日（木）～10日（金）

① 2024年介護保険制度改訂と自治体の対応

講師の鏡諭氏は介護保険制度の立ち上げに携わったとのこと。

2024年度に改訂された第9期介護保険事業計画や給付と負担のバランスについて介護保険制度の趣旨を通じて述べられた。

介護保険は負担の話題ばかりが良く上がるが、給付（サービス）についての話題がなかなか進まない。

また、3年に1度見直ししなければならないが、慣れのようなものが伺えるとのこと。今後は認知症の方についての対応がより求められてくる。自治体の責務でもっと介護サービスの内容について深めること。そして介護保険料がこれだけ必要だと住民に説明し理解を得ていかなければならない。

また、最近介護予防が強調され自立が行政により優先されているのではないかなどの疑問をあげていた。

そして、ケアプランの有料化や所得の判断基準の見直しなど今回の制度審議では審議継続となった課題などの説明がなされた。

介護保険については、2000年に制度施行されて20年以上が経過する。喫緊の課題である介護人材の確保以外に介護保険制度の給付と負担の関係性について学ぶことができ、興味深い内容であった。

② 質問力を高める、議会力にいかす

一般質問とは議員による「わがまちの【政策・制度】の課題」を提起する場である。

その上で一般質問の質を高める上で必要となる資料収集やデータの参照サイトなどの紹介を交えながら論点整理や構造化の方法を学ぶことができた。

また自治体・市民・議員の関係性についても述べておられた。

市を良くしたいという思いは行政も議員も同じであると思う。しかしながら、市の政策が必ずしも正しいとは限らない。だからこそ、一般質問を通じて政策の漏れや必要性などしっかりと見抜ける力を付けなければならない。一般質問をすることの意義について認識を改めることができた。



法政大学 大学院
HOSEI University

公共政策研究科 公共政策学専攻

兼任講師 **鏡 諭**
Satoshi KAGAMI

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢284-4
Phone : 090-1855-0556 FAX : 04-2963-1706
E-mail : sashi@mug.biglobe.ne.jp
satoshi.kagami.3t@hosei.ac.jp



法政大学

法学部 政治学科 教授

博士(政治学) **土 山 希美枝**

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
80年館4階研究室
E-mail: kimiet@hosei.ac.jp



山口大学大学院 准教授
消防庁消防大学校 客員教授

博士(工学) **瀧 本 浩 一**

〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2-16-1
E-mail: dps1page@yamaguchi-u.ac.jp (研究室)

山口大学キャラクター“ヤマミィ”

響き合って、
未来へ。



世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World

MU
Musashino University
武蔵野大学

法学部 政治学科
教授 博士(公共政策学)

一 條 義 治
ICHIJO Yoshiharu

〒135-8181
東京都江東区有明三丁目3番3号
Telephone 03-5530-7482
Facsimile 03-5530-3822
y-ichijo@musashino-u.ac.jp

修了証書

宝塚市議会

坂本 篤史 殿

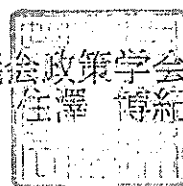
あなたは、自治体議会政策学会の主催による
下記の講座を修了したことを証します。

2024年 第24期 自治政策講座 in 東京
地域の未来を考える
災厄・縮小社会に問われる「自治」

講座	開催日	講座名 / 講師
第1講義	5/9 (木)	2024 年度介護保険制度改定と自治体の対応 鏡 諭 法政大学大学院公共政策研究科 兼任講師 /元淑徳大学コミュニティ政策学部長 教授
第2講義	5/9 (木)	質問力を高める、議会力にいかす 土山 希美枝 法政大学法学部 教授
第3講義	5/10 (金)	災害に強い社会をつくるには 瀧本 浩一 山口大学大学院創成科学研究科 准教授 ・消防庁消防大学校 客員教授
第4講義	5/10 (金)	人口減少時代の自治体計画とコンパクトシティ政策 一條 義治 武蔵野大学法学部 教授

令和6年5月10日

自治体議会政策学会
会長 任澤 博経



(会派名または議員名 坂本 篤史)

政務活動費支出書

支出科目	要請・陳情活動費	内 訳	旅費	支出番号	4
支 出 日	2024年9月9日		支出金額	29,728 円	
支 出 先	JRなど				
支出内容	旅費等				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供 覧	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合 議
	別紙様式7-2(議員用)								

要請・陳情活動報告書

宝塚市議会議員 様

議員名 坂本 篤史



要請・陳情活動の結果について、次のとおり報告します。

- 要請・陳情先 国土交通省 斉藤鉄夫国土交通大臣
(名称・相手方氏名等)
- 要請・陳情活動の実施場所 東京都千代田区霞が関2-1-3
(名称・所在地) 国土交通省 大臣室
- 期 間 令和 6年 9月 9日 ～ 令和 6年 9月 9日
- 出張者氏名(議員名) 中野 正、坂本 篤史

- 要請・陳情活動の内容(概要) ※成果、所見等については別紙を添付

宝塚市長および市幹部、さらに兵庫県宝塚土木事務所所長と共に、来年度予算要望として、道路関係等の予算拡充を求めるため、昨年度に引き続き石井啓一国土交通大臣に直接要望活動を行います。大臣への直接要望に関しては、伊藤たかえ参議院議員が地元でもあり、紹介と同席を頂き実現しました。

6 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金 額	領収書の有無※	備 考
9/9	J R ✓	中山寺⇄新大阪(往復)✓	¥1,020	✓ 有・ 無 ✓	① 570円×2
	J R ✓	新大阪⇄東京(往復)✓	¥28,060	✓ 有 ・無	
	J R ✓	東京⇄有楽町(往復)✓	¥292	✓ 有・ 無 ✓	② 146円×2
	地下鉄 ✓	有楽町⇄桜田門(往復)✓	¥356	✓ 有・ 無 ✓	③ 178円×2
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
合 計			29,728円	✓	

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

人	泊	金 額	計	円
7 交通費	ガソリン代			円
	高速代			円
	駐車場代			円
	自動車借上料			円
	計			円

【記入要領】

- ア 要請・陳情活動を実施した場合、この報告書を作成すること。
 イ 要請・陳情活動の成果、所見等については別紙を添付すること(書式は任意)。
 ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること(領収書を別紙に添付する)。
 ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
 エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
 オ 宿泊料は、上限額(13,000円)以内で現に要した実費を記入すること(領収書を別紙に添付する)。
 カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
 キ 交通費は、自家用車(バイクを含む)等を利用した場合に記入すること(領収書を別紙に添付する)。



陳情活動報告書（別紙）

日時 2024年9月9日

場所 国道交通省 大臣室（東京都千代田区霞ヶ関2-1-3）

内容

令和6年度予算に対する要望

重点要望事業（大臣に直接要望した2点を以下に示す）

1、道路等、社会基盤施設の設備に必要となる予算の確保

ここでは特に、都市計画道路荒地西山線、都市計画道路競馬場高丸線、都市計画道路山手幹線について説明し

大臣より要望踏まえ支援する旨の発言いただく

2、駅のバリアフリー化を図るために必要となる予算の確保

JR武田尾駅バリアフリー化事業の促進【JR西日本施工】

宝塚市において兵庫県やJR西日本と協力してバリアフリー基本構想及びエレベーター設置等について説明をし

大臣より国土交通省として、事業が円滑に進むように鉄道事業予算の確保に努めるとの発言をいただく

所感

今年も宝塚在住の伊藤たかえ参議院議員のルートで直接、国土交通大臣に市長が陳情する。

大臣からも、踏み込んだ発言をしていただいているので、取り組みに向けて努力していく。

領収書
RECEIPT宛名
RECEIVED
FROM

中野正

坂本篤史

様

お預かり番号
RESERVATION2006
NUMBERクレジットカード
ド番号
CARD
NUMBER

XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

金額計
TOTAL
AMOUNT¥28,060 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)内容
DETAIL乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE購入日
DATE OF
PURCHASE

2024年9月4日

乗車日
DATE OF
DEPARTURE

2024年9月9日

列車名・券種
利用区間のぞみ354号
新大阪
FROM❖ 東京
TO東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569

28,060円 ÷ 2人 = 14,030円

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM 中野正

坂本篤史

様

お預かり番号
RESERVATION2007
NUMBER

クレジットカード番号
CARD NUMBER XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

金額計 TOTAL AMOUNT	¥28,060 (10%・税込) (クレジットカード利用・Credit card use)	内容 DETAIL	乗車券類のご購入代金 TICKETS PRICE
---------------------	--	--------------	-----------------------------

購入日 DATE OF PURCHASE	2024年9月9日	乗車日 DATE OF DEPARTURE	2024年9月9日
-------------------------	-----------	--------------------------	-----------

列車名・券種 利用区間	のぞみ59号 東京 FROM	新大阪 TO
----------------	-------------------	--------

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



28,060円 ÷ 2人 = 14,030円

国土交通大臣

齊藤 鉄夫 様

防災・減災対策の推進に関する要望

令和6年9月9日

宝塚市

令和7年度予算編成に対する要望

平素は、本市の防災・減災対策の推進に対し、格別のご尽力とご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年、毎年のように記録的な豪雨や大型台風、梅雨前線に伴う大雨や、線状降水帯発生による河川の氾濫や土砂災害など、災害の様相も頻発化・激甚化・広域化しています。更に、南海トラフによる巨大地震の発生が懸念されている状況下において、市民の生命・財産を守り、より住みやすく豊かで活力ある地域づくりを進めるためには、河川・砂防などの防災対策はもちろん、迅速な避難・救助活動や復旧・復興を図るための道路・橋梁をはじめとするインフラ整備と老朽化対策を計画的かつ確実に進めていく必要があります。

本市において、令和2年3月に宝塚市地域強靱化計画を策定し、道路・橋梁などのインフラ整備と老朽化対策を計画的に推し進めていきますが、そのためには国土交通省の深いご理解とご指導が必要であります。

つきましては、次に掲げる事業はいずれも今後の本市の防災・減災力を向上させるために必要不可欠な事業でありますので、令和7年度予算編成に際し、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 防災・減災、国土強靱化のための対策の充実

事前防災対策や老朽化対策を推進するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の最終年度となる令和7年度においても、賃金水準などの上昇も加味した上で、必要な予算・財源を例年以上の規模で確保をお願いします。また、令和6年能登半島地震などを踏まえ、5か年加速化対策後も中長期的かつ明確な見通しの下、継続的・安定的に国土強靱化を推進できるよう、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保をお願いします。

2 重点要望事業

(1) 道路等、社会基盤施設の整備に必要となる予算の確保

災害時の避難・救助、迅速な復旧・復興に不可欠な都市計画道路の着実な整備や、新型コロナ収束後の経済活動V字回復のためのポストコロナ社会を見据えた社会基盤施設の整備促進に必要となる予算の確保をお願いします。

都市計画道路荒地西山線〔小林工区〕

〔平成8年度～令和8年度予定〕

都市計画道路競馬場高丸線〔仁川清風台工区〕

〔令和7年度～令和14年度予定〕

〔仁川宮西町工区〕

〔平成29年度～令和9年度予定〕

都市計画道路山手幹線〔梅野町工区〕

〔令和5年度～令和7年度予定〕

〔仁川清風台工区〕

〔令和7年度～令和14年度予定〕

(2) 駅のバリアフリー化を図るために必要となる予算の確保

鉄道駅総合改善事業により、エレベーターの設置ができていない JR 武田尾駅のバリアフリー化を図ることで、高齢化が進展する宝塚市西谷地域の利便性及び健康福祉を増進し、観光客などの来訪者にとっても安心して安全に移動できるバリアフリー空間の計画的な整備促進に必要となる予算の確保をお願いします。

J R 武田尾駅バリアフリー化事業の促進 〔J R 西日本施工〕

(3) 社会基盤施設の老朽化対策に必要となる予算の確保

市民生活に密着した、インフラに潜む災害リスクを取り除き、安全・安心な生活基盤を確保するため、予防保全を含む老朽化対策事業の着実な実施に必要な予算の確保をお願いします。

橋梁長寿命化事業

舗装修繕事業

下水道ストックマネジメント

流域下水道事業及び兵庫東流域下水汚泥処理事業 〔兵庫県施工〕

配水池統廃合事業

(4) 災害復旧に係る体制強化

広域的な大規模災害時の迅速かつ円滑な復旧等に資する、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣や国による権限代行等が速やかに実施できる体制・機能の拡充・強化をお願いします。

(5) 総合的な治水対策に必要となる予算の確保

頻発する大規模水害に備えるため、武庫川流域の治水対策に必要な予算の確保をお願いします。

令和6年9月9日

宝塚市長 山崎晴恵

重点要望 街路事業の整備促進

宝塚市

事業概要 (令和7年度予定) 《事業主体》

都市計画道路荒地西山線〔小林工区〕 《宝塚市》

本事業によって道路網の整備を図ることにより、鉄道軌道による中心市街地の分断解消、安全な通学路の確保とともに、周辺踏切の交通量低減を図る。

- ・側道・歩道の整備促進に努める。

全体事業費：14,000百万円(残事業費1,013百万円(国費557百万円))

状況写真

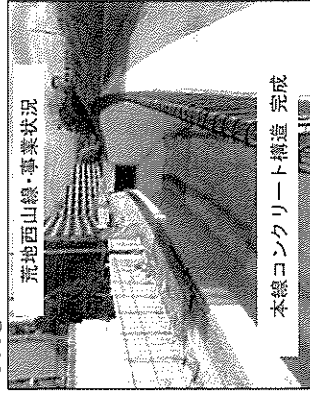
写真①



荒地西山線・近接県道の渋滞

大型車は踏切道へ迂回
阪急今津線 桁下制限 2.6m

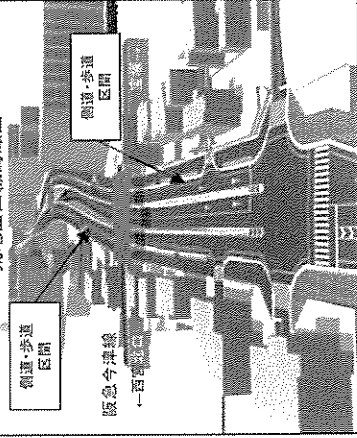
写真②



荒地西山線・事業状況

本線コンクリート構造 完成

荒地西山線鳥瞰図

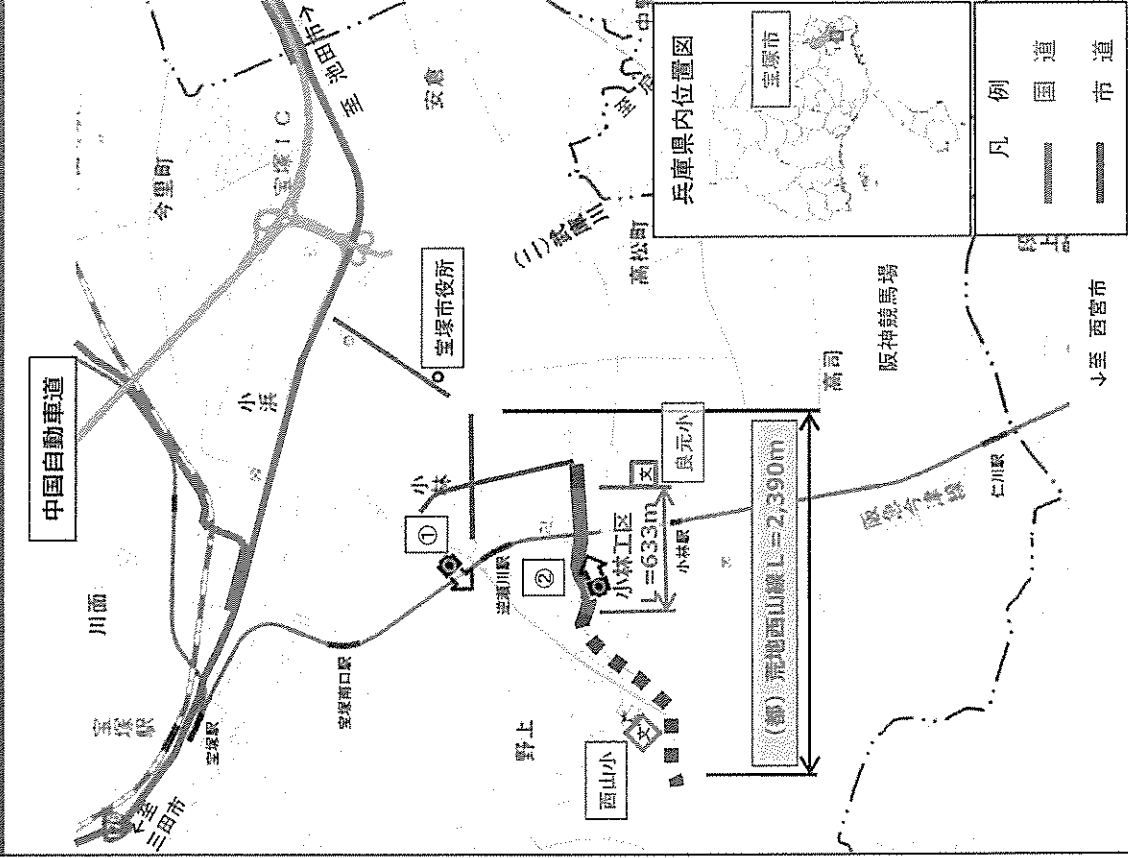


残工事箇所断面図

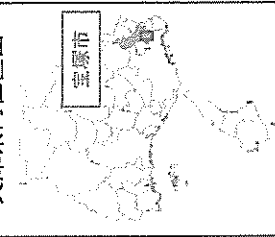
整備幅員27m

側道・歩道・仕上げ工事
(R6～R8施工予定)

位置図



兵庫県内位置図



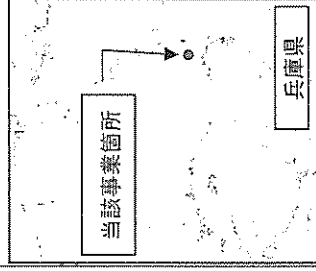
例 国道 市道

重点要望 住宅市街地総合整備事業の促進

宝塚市

■ 災害に強いまちづくりのための住市総事業の促進

- 社会資本総合整備計画名:
宝塚市における住環境の改善および都市機能の向上計画
- 要素事業名:住宅市街地総合整備事業(仁川地区)
関連公共事業(都)競馬場高丸線(L=900m、W=14~17m)
- 地区の課題:
宝塚市の仁川地区は、阪神大震災でインフラ不足が課題となつた。現在でも以下の図のとおり課題があり、緊急車両の通行に支障をきたしている。
- 整備の目的
頻発する地震災害に備え、災害に強いまちづくりのため、インフラの整備を行う。これにより、山手地域等への緊急車両の到達時間を約半分に短縮する。合わせて、安全な歩行空間の確保を行う。
- 事業期間(街路事業認可期間)
仁川宮西町工区:平成29年度~令和9年度
仁川清風台工区:令和7年度~令和14年度(予定)
○総事業費 8,530百万円(国費:4,265百万円)



競馬場高丸線・近接現道状況

幹線道路は通学路ともなっているが、幅員狭小、歩道も1m弱。
→安全な通学路の確保が必要

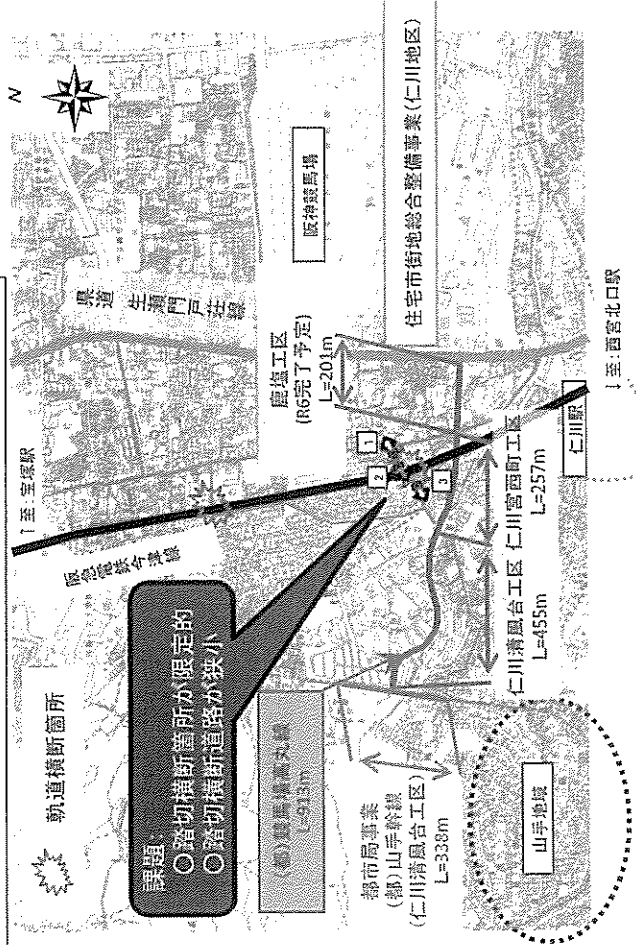


競馬場高丸線・近接現道状況

山手地域への幹線道路であるが、高さ制限3m、東西の行き来に支障
→緊急車両も通行困難



競馬場高丸線・工事状況



重点要望 街路事業の整備促進

宝塚市

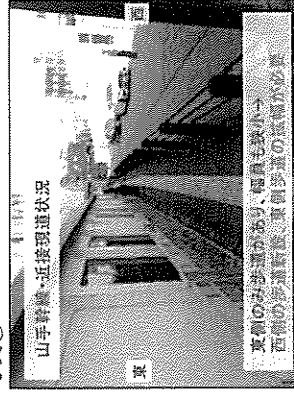
事業概要 (令和7年度) 《事業主体》

都市計画道路山手幹線〔梅野町工区〕 《宝塚市》

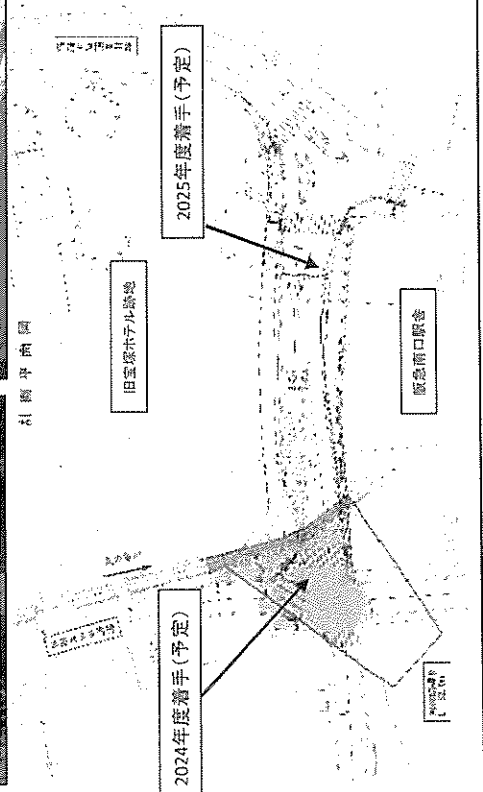
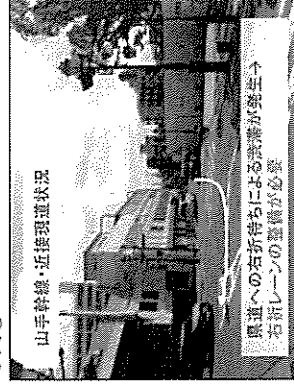
- ・本事業区間には東側(宝塚南口駅側)にしか歩道がなく幅員も狭い状況で、旧宝塚ホテル跡地の開発に伴い、西側に歩道を整備し歩行者空間を確保する。
 - ・朝夕に発生する渋滞解消について、阪急宝塚南口駅前交差点に右折レーンを整備し、駅周辺を円滑で安全な移動の促進を図る。
- 全体事業費:500百万円(残事業費124百万円(国費62百万円))

状況写真

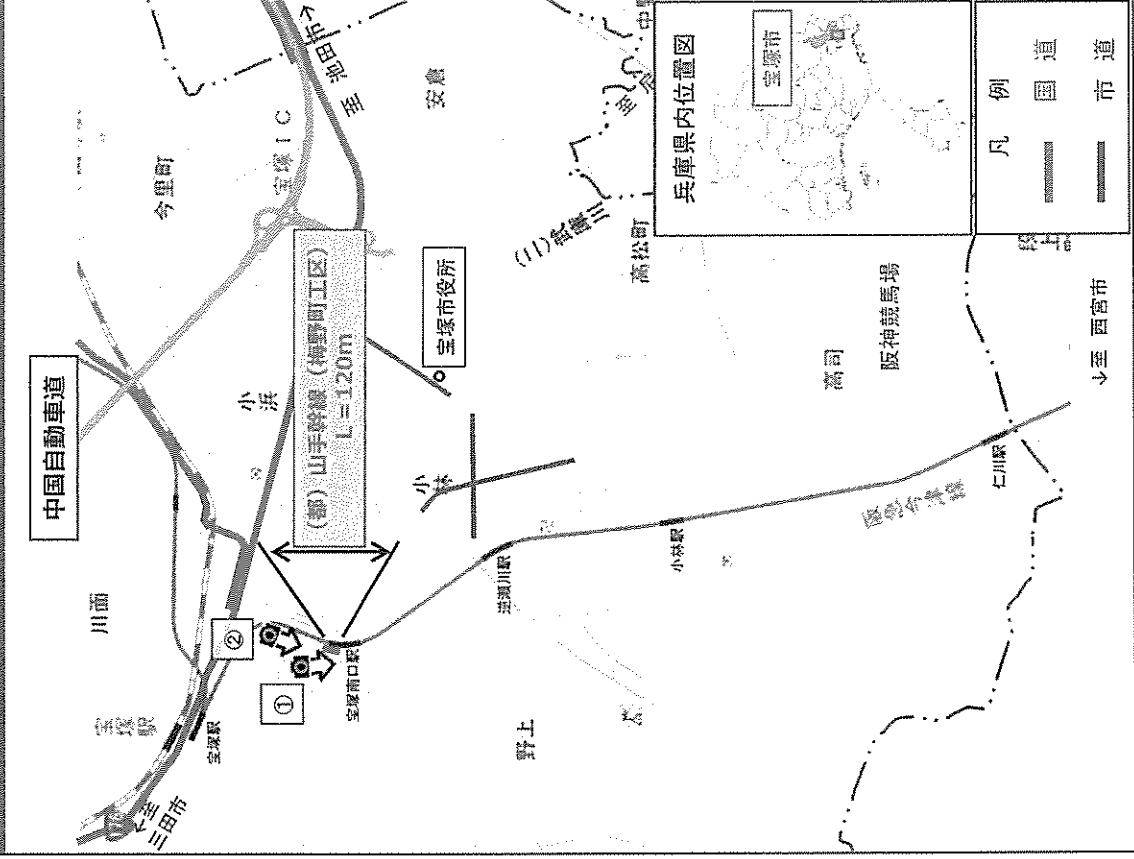
写真①



写真②



位置図



事業概要 (令和7年度予定) 《事業主体》

JR武田尾駅バリアフリー化 《JR西日本》

鉄道駅総合改善事業により、エレベーターの設置ができていないJR武田尾駅のバリアフリー化を図ることで、高齢化が進展する宝塚市北部地域(西谷地域)の利便性及び健康福祉を増進し、観光客などの来訪者にとっても安心して安全に移動できるバリアフリー空間の計画的な整備を促進する。

全体事業費:1,300百万円(国費650百万円)

状況写真

駅前スロープ



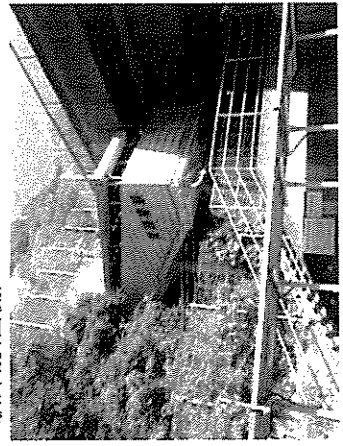
駅構内階段



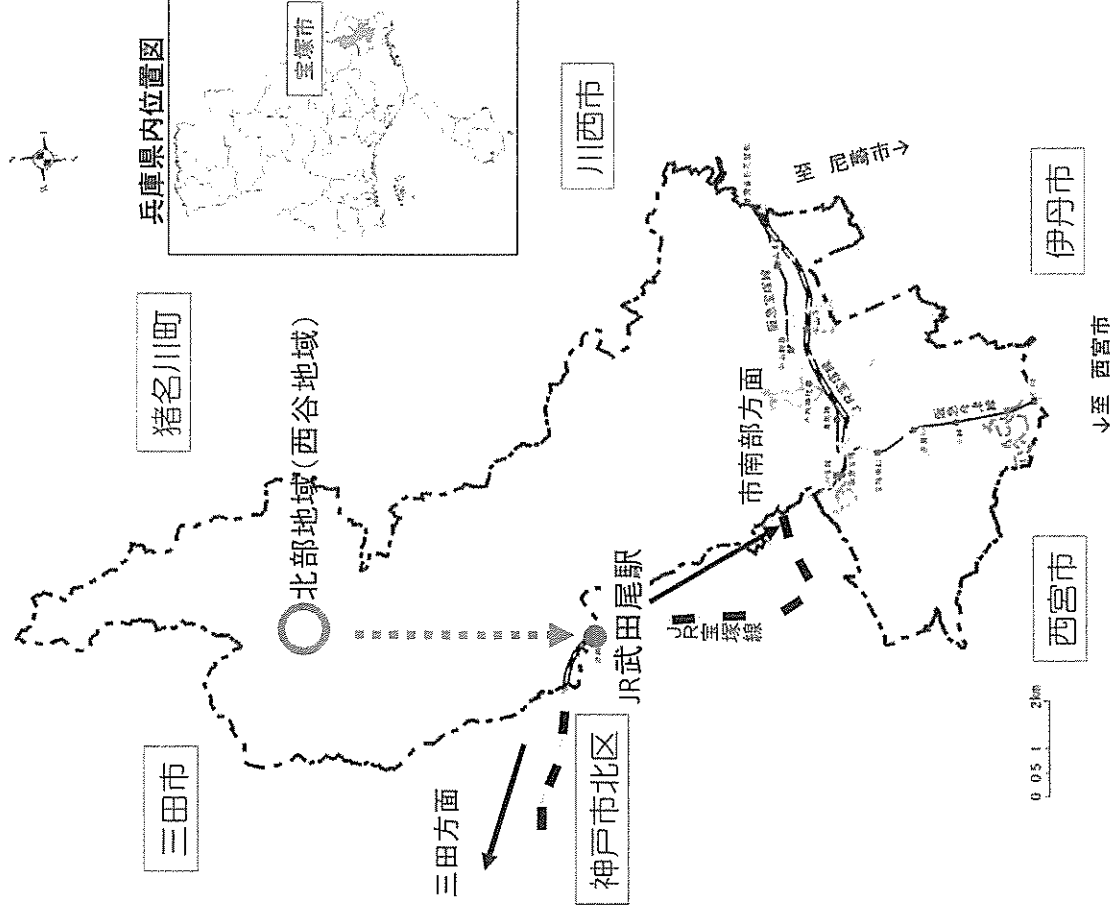
駅外観(東側)



駅外観(西側)



位置図



(会派名または議員名 坂本 篤史)

政務活動費支出書

支出科目	調査費	内 訳	交通費	支出番号	5
支 出 日	2024年4月25日		支出金額	1,761 円	
支 出 先	本田タクシー株式会社				
支出内容	タクシー代 「出張調査（研究・研修会参加）報告書」及び領収書は支出書No.1 に添付				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額